

県民のあゆみ

特集(p.4)

直売所から伝える「おいしい山形」の魅力

奏であう人(p.8)

山形から発信するものづくり

やまがた伝説(p.16)

こんにゃく

2020

3

No.614
令和2年3月号

山形県広報誌
令和2年3月号

県民のあゆみ

3

奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報誌推進課
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 ☎023-630-2534

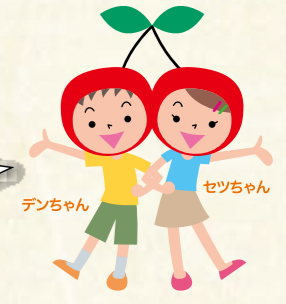
表紙題字 | 山形県知事 吉村美栄子
県ホームページURL <http://www.pref.yamagata.jp/>

リサイクル推進性
この紙は、印刷の過程で、
リサイクルされています。

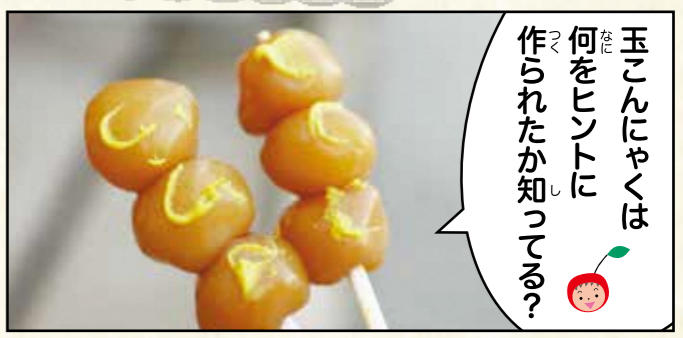
直売所のスタッフの方と、採れたての新鮮な野菜や果物、加工品を出荷している農家の皆さん。消費者にも生産者にもメリットのある直売所は、農林水産物の販路を拡大していくうえで、重要な役割を担っています。
(撮影協力:かわにし森のマルシェ)

やまがた でん せつ 伝説 DENSETSU

やま がた しょう ひ に ほん いち
山形はこんにゃく消費が日本一
たま けん びん
玉こんにゃくは、県民のソウルフード!



山形県民はこんにゃくが大好きです。その証拠に、こんにゃくへの支出金額は、全国の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング(2016~2018年)で、山形市が3,670円と2位の青森市(2,652円)を大きく引き離し堂々の1位です。地域のお祭りや行事で見かける玉こんにゃくは、県内の観光地であれば必ずといっていいほど売られています。また、山形名物の芋煮の材料としてもこんにゃくは欠かせない存在です。



玉こんにゃくは、何をヒントに作られたか知ってる?

こんにゃくは、平安時代に山寺立石寺を開いた慈覚大師が山形に伝え、広めたとの説があります。今ではすっかりおなじみの玉こんにゃくが誕生したのは、明治20年頃。ヤマコン食品創業者の長谷川松四郎氏が、おやつのように気軽に食べられるようにと、「みたらしだんご」をイメージして考案しました。これを初市やお祭りで販売したところ評判となって県内各地に普及し、現在は首都圏にまで広がっています。



山形が日本一!?
こんにゃくの文句は

平こんにゃくは、こんにゃく芋を糊状に加工したこんにゃく糊を型に入れて作ります。一方の玉こんにゃくは、以前は型に入れる代わりに、人が手作業で丸めてお湯に放り込んで作っていました。戦後、自動的に丸くできる、業界初の玉こんにゃく製造機が開発されて、大量生産が可能になりました。花見やお祭り、お盆や年末年始の人が集まる時期は、普段の倍近い量の玉こんにゃくが作られるそうです。



玉こんにゃくは、こんにゃく糊を丸めてゆでて出来るんだよ!

大きくて弾力がある生玉こんにゃくもぜひ食べてみてください

玉こんにゃくの話をお聞きした
長谷川 晃一 さん
ヤマコン食品有限会社 代表取締役社長

当社の玉こんにゃくづくりは、130年の歴史があります。最近では加熱処理しない「生玉こんにゃく」が人気です。山形県観光物産市や花笠まつり、日本一さくらんぼ祭りに出店し、キンキンに冷たい玉こんにゃくを提供しています。

山形県弁護士会 TEL(023) 635-3648

こんなときは弁護士会にお問い合わせください。【①~⑩の場合は初回無料】

- ① 借金の返済 ▶ 借金問題法律相談【土曜・日曜相談行っています】
※一部地域を除きます ※事前に山形県弁護士会まで連絡申し込みの上、担当弁護士事務所での相談となります。
- ② 新築住宅とリフォームの紛争 ▶ 住宅紛争審査会
- ③ 犯罪被害 ▶ 犯罪被害者支援センター
- ④ 高齢者や障がいのある方の相談 ▶ 高齢者・障害者支援センター
- ⑤ 交通事故 ▶ (公財)日弁連交通事故相談センター
- ⑥ 労働問題 ▶ 労働問題に関する無料相談窓口
- ⑦ 生活保護 ▶ 生活保護に関する無料相談窓口
- ⑧ 子どもの人権 ▶ 子ども相談窓口
- ⑨ 中小企業の経営者の相談 ▶ ひまわりほっとダイヤル
- ⑩ 犯罪を犯したとされる方の家族が支援を求めたいとき ▶ 犯罪加害者家族支援センター
- ⑪ 家族が逮捕されたとき ▶ 当番弁護士

年中無休・24時間受付(業務時間外は留守電対応) ☎(023) 622-2234

~左記以外のご相談~
常設の法律相談センター
をご案内します

会場 山形・鶴岡・酒田・米沢・新庄
料金 5,500円(30分)
※一定の要件を満たす場合には無料となる場合があります。

日弁連広報キャラクター ジャパバ

広告